

(指針配慮事項編)

〔1〕はじめに

1 出店の趣旨

地域の皆様におかれましては、益々のご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、博多区住吉五丁目に「(仮称)ダイレックス博多住吉店」の出店を計画しております。

出店を計画するにあたり、地域の皆様方の日常生活の利便性の向上と豊かな生活環境の実現のために微力を尽くしていくとともに、地域にお住まいの方々に対しましては、騒音問題や交通問題への対策を講じ、皆様方にご迷惑をお掛けすることがないように配慮して営業を行っていく所存であります。

2 大規模小売店舗設置者等の連絡先等

(1) 設置者の連絡先

ダイレックス株式会社 店舗開発部 西山洋史

佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬 930 番地

TEL 0952-32-6511 FAX 0952-32-6761

(2) 出店計画についての問い合わせ先

同上

3 店舗施設計画の概要

(1) 計画地の概要

①敷地面積及び土地の所有形態

敷地面積	5,363㎡	自己所有
------	--------	------

②法令上の用途等

- ・近隣商業地域、商業地域

別添「資料-10 用途地域図」参照

③現在の利用状況

更地

(2) 計画地周辺の概要

①立地環境

- ・計画地北西側；市道住吉231号線を挟み集合住宅等が立地する。
- ・計画地北東側；市道御供所井尻3号線を挟み事業所兼集合住宅等が立地する。
- ・計画地南東側；市道住吉226号線を挟み店舗や集合住宅が立地する。
- ・計画地南西側；市道住吉225号線を挟み店舗兼集合住宅等が立地する。

②基盤整備に関する事業の有無とその内容

該当事業なし

③街並みづくり計画の有無とその内容

当該計画なし

(3) 建物の構造及び規模

①建物構造

鉄骨造 4階建て

②店舗面積の内訳

イ 建築面積 ; 2,405㎡

ロ 延べ面積 ; 8,822㎡

ハ 各階ごとの店舗面積及び延べ面積等

(単位 : ㎡)

区分 階数	店舗面積	その他の施設 ・併設施設等	延べ面積	主な用途
R F	0	54	54	設備スペース
4 F	0	2,111	2,111	事務所
3 F	0	2,111	2,111	事務所・テナントスペース
2 F	0	2,200	2,200	事務所・テナントスペース
1 F	1,385	961	2,346	店舗、倉庫等
合計	1,385	7,437	8,822	

(4) その他の施設・併設施設等の計画と各施設面積

利用者層が同一の併設施設	
当該施設なし	0 ㎡

利用者層が異なる併設施設	
テナント	2,362 ㎡

大規模集客施設の床面積	
当該施設なし	0 ㎡

(5) 建築着工予定年月日及び完成予定年月日

①建設着工予定年月日 : 令和7年12月 上旬

②完成予定年月日 : 令和8年11月 上旬

4 まちづくりへの協力・地域社会への貢献に係る取組等について

(1) まちづくりや防災・防犯、環境保全等に係る連携・協力

- ①従業員による店内及び駐車場内の巡回や声かけ等を実施するとともに、駐車場内には適切な照明設備を配置することで、駐車場内の死角を排除し、青少年の蟻集等の防犯対策に努める。
- ②店舗内における犯罪や少年非行防止の観点から、見通しを確保した商品陳列、防犯カメラの設置など、万引き防止等の防犯対策を講じる。
- ③災害時や緊急時には、地元警察と連携し、事件発生時における警察への通報要領及び避難誘導措置など緊急通報体制を確立し、地域の防犯対策に努める。
- ④環境美化対策として、従業員における店舗周辺の清掃美化活動を定期的実施する。
- ⑤バリアフリー法や福祉のまちづくり条例に適合した店舗づくりをめざし、多目的トイレの設置を検討する。

(2) 地域商業活性化に係る連携・協力

- ①近隣商店街、商工会議所や商工会等から加入の要請があれば、前向きに検討する。
- ②万一閉鎖を余儀なくされた場合においては、「早期の情報提供」、「従業員雇用の確保」、「取引先企業に対する対応」、「店舗閉鎖に伴う環境悪化の防止」など適切に対応する。

(3) 地域の祭りや行事等への参加・協力

- ①地域の祭りやイベントへの協力の申し出があった場合には参加を積極的に検討する。

(4) その他、事業活動を通じた社会貢献など

- ①従業員の採用にあたっては、地元から優先的に雇用する。

(5) 地域社会との連携窓口

ダイレックス株式会社 店舗開発部 開発課 西山洋史
佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬 930 番地
TEL 0952-32-6511 FAX 0952-32-6761

〔2〕「指針」の各項目に関する事項

1 駐車場の計画

①駐車場の構造、収容台数、面積及び敷地の状況

駐車場No.	収容台数		面積	駐車区画の大きさ	
	一般用	身障者用		一般用	身障者用
駐車場	391台	2台	4,559.24m ²	2.5m×6.0m×14台 2.3m×5.2m×327台 2.3m×4.7m×12台 2.0m×3.6m×38台	3.5m×5.0m

※指定車用駐車場（23台）は含まない。

※現状、駐車場のオーナーが月極駐車場として個人や会社等へ貸出しているが、ダイレックスの来客用として100台確保できるようダイレックスのオープン時には月極駐車場を解約予定である。

駐車料金の徴収の有無	駐車場法届出	附置義務条例	入口ゲートの入庫処理時間	契約形態
有	有	適応	8秒/台	契約駐車場

②交通への支障を回避するための方策等

交通への支障回避の方策	具体的な内容
交通整理員の配置	配置場所：別添「資料－7 動線計画図」に示す場所以外にも状況に応じて交通安全上重要な地点に配置する。 人数：1名（状況に応じて適宜増員する） 配置日・時間：8:30～20:00（オープン時や繁忙期のみ）

2 駐輪場・自動二輪車の駐車場の計画

①市基準に基づく必要駐輪台数算出根拠

S：店舗面積	1,385 m ²
必要駐輪場台数算出式	・必要駐輪場台数 1,385 m ² / 40 m ² = 34.6 台 ・原動機付自転車：34台 × 0.1 = 4台
必要駐輪場台数（内原付）	34台（4台）

（端数処理：切り捨て、但し原動機付自転車は切り上げ）

②駐輪場台数の予測の結果と算出根拠

該当なし

③駐輪場の構造、収容台数及び面積

駐輪場No.	駐輪場構造	収容台数 (うち原動機付き自転車)	面積	駐輪区画の大きさ	
				一般用	原動機付き自転車
駐輪場No.1	平面式	42台(0台)	50.4 m ²	0.6m×2.0m(42台)	—
駐輪場No.2	平面式	17台(9台)	22.2 m ²	0.6m×2.0m(8台)	0.7m×2.0m(9台)
駐輪場No.2	平面式	16台(0台)	19.2 m ²	0.6m×2.0m(16台)	—

④駐輪場の管理体制

項目	
整理員等の配置	・店舗従業員の適宜見回りにて対応する。
営業時間外の管理等	・特になし

⑤駐輪場案内の表示方法

- ・駐輪場である旨の路面標記
別添「資料－7 動線計画図」参照

⑥自動二輪車駐車場の必要台数の予測の結果と算出根拠

自動二輪車駐車場台数	1台
必要駐輪台数算出根拠： 「福岡市の人の動き ～第5回北部九州圏パーソントリップ調査による～（平成29年度）」の博多区における代表交通手段構成の値を用いると、 自動車に対する自動二輪車の割合：2.2% 自動二輪車の必要台数=28台×2.2%=1台（端数処理：四捨五入）	

⑦自動二輪車の駐車場の構造、収容台数及び面積等（自動二輪車専用駐車施設を設ける場合）

自動二輪車駐車場No.	構造	収容台数	面積	駐車区画の大きさ
自動二輪車駐車場	平面式	2台	2.3 m ²	1.0m×2.3m

⑧自動二輪車駐車場を設けるに当たっての安全上の対策

- ・特になし

3 荷さばき施設の計画

①荷さばき施設の面積・構造

荷さばき施設No.	同時作業の可能な台数		待機スペースの有無・広さ	防音等の対応
	想定する車両の大きさ	台数		
荷さばき施設No.1	4t車	1台	無	・アイドリング禁止の旨を記載した看板を設置することで注意を喚起する。
荷さばき施設No.2	4t車	1台	無	

②搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数	対応等
有	2箇所	—

4 経路の設定

①設置者が行う交通対策等の予定

No.	指導事項	対応・内容
1	業務用車両専用出入口について一方通行を逆走しないよう矢印の路面表示を追加すること。	左記のとおり対応します。

5 その他の施設の配置及び運営方法に関する計画

①歩行者の通行の利便の確保等のための計画

	具体的な内容等
歩行者通路確保のための対策	・特になし
夜間照明灯の設置の有無	有：適切な照明設備を配置することで、夜間、歩行者の通行の安全を確保する。 設置場所；未定

②バス等公共交通機関のための駐車場の整備

施設計画の概要（滞留台数、シェルターの有無、整備延長等）
・特になし。

③交通対策事業への提案

事業計画の概要（パークアンドライド事業等）
・特になし。

④廃棄物減量化及びリサイクルについての計画

廃棄物減量化及びリサイクル計画の予定及び概要
<ul style="list-style-type: none"> ・店舗から排出される廃棄物の品目について業者へ情報を提供し、極力資源化が図れるよう協力を要請する。 ・商品梱包用段ボールや空き缶を分別保管し、業者に依頼して再資源化を図る。 ・過剰包装、梱包の抑制による廃棄物の低減化を図る。

店舗発生分

廃棄物種別	品 目	
古紙（リサイクル可能な紙）	新聞紙、段ボール、雑誌、オフィス古紙、機密書類、雑がみ	
可燃物	厨芥類	食品廃棄物、魚あら、廃食用油、その他（——）
	その他	ペットボトル、食品トレイ、発泡スチロール、その他可燃ごみ
不燃物	缶類（アルミ・スチール）、びん類、その他（——）	

※上記品目で、店舗から発生しないものについては二重線で消し、店舗から発生し資源化するものについては丸で囲むこと。

資源物の店頭回収分及び家電リサイクル法に基づく家電品の引取分

廃棄物種別	品 目
可燃物	牛乳パック、食品トレイ、ペットボトル、その他（——）
不燃物	アルミ缶、空きびん、その他（——）
廃家電	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣料乾燥機

※上記品目で、店舗にて回収・引取を行わないものについては二重線で消し、店舗にて回収・引取を行うものについては丸で囲むこと。

近隣住民等への周知方法
・住民説明会で周知を図る。

⑤防災・防犯対策への協力等

イ 防災対策への協力

防災協定等締結の有無	締結協定の具体的な内容
無	行政より要請があれば検討する。

ロ 防犯対策への協力

（町内会等の地元団体や警察等の関係機関からの協力要請があった場合、記載すること。）

防犯対策への協力の有無	防犯対策への協力に係る具体的な内容
無	行政より要請があれば検討する。

ハ 店舗が主体的に取り組む防犯対策について

- ①従業員による店内及び駐車場の巡回や声かけ等により、青少年の蟄集等の防犯対策に努める。
- ②見通しを確保した商品陳列、防犯カメラの設置など、万引き防止等の防犯対策を講じる。
- ③災害時や緊急時には、地元警察と連携し、事件発生時における警察への通報要領及び避難誘導措置など緊急通報体制を確立し、地域の防犯対策に努める。

6 騒音の予測と騒音対策

① 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策

荷さばき施設の配置等	別添「資料-3. 1 1階平面図兼配置図（荷さばき施設）」参照
	具体的な騒音対策の内容
施設面	・十分な作業スペースを確保することで、作業時間の短縮に努める。
運用面	<ul style="list-style-type: none"> ・荷さばき車両のアイドリングの禁止を徹底させる（但し、停止することができない保冷車のアイドリングは除く）。 ・作業員への騒音防止意識を徹底させる。 ・午後10時台の搬出入車両は、後進警報ブザー音を切れる車両とし、ブザー音を切るよう作業員に周知する。 ・夜間（午後11時以降）には荷さばき作業は行わない。

② BGM等の営業宣伝活動の予定及び騒音対策

屋外に向けての営業宣伝活動は行わない。

③ 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機等の規模・能力・騒音レベル及び騒音対策

No.	項目		規模・能力	騒音レベル (dB)	具体的な騒音対策の内容
	騒音源種類	設備機器形式			
1	室外機 1	PUZ-ZRMP112KA15	圧縮機出力 2.1kW	50.1	・定期的に保守点検を実施し、故障等による異音の発生を防止する。
2	室外機 2	PUZ-ZRMP112KA15	圧縮機出力 2.1kW	50.1	
3	室外機 3	PUZ-ZRMP280KA5	圧縮機出力 5.7kW	62.0	
4	室外機 4	PUZ-ZRMP280KA5	圧縮機出力 5.7kW	62.0	
5	室外機 5	PUZ-ZRMP280KA5	圧縮機出力 5.7kW	62.0	
6	室外機 6	PUZ-ZRMP280KA5	圧縮機出力 5.7kW	62.0	
7	室外機 7	PUZ-ZRMP280KA5	圧縮機出力 5.7kW	62.0	
8	室外機 8	PUZ-ZRMP280KA5	圧縮機出力 5.7kW	62.0	
9	室外機 9	PUZ-ZRMP280KA5	圧縮機出力 5.7kW	62.0	
10	室外機 10	PUZ-ZRMP280KA5	圧縮機出力 5.7kW	62.0	
11	室外機 11	PUZ-ZRMP224KA5	圧縮機出力 4.6kW	59.1	
12	室外機 12	PUZ-ZRMP112KA15	圧縮機出力 2.1kW	50.1	
13	室外機 13	PUZ-ZRMP63KA15	圧縮機出力 1.2kW	46.0	
14	室外機 14	PUZ-ZRMP112KA15	圧縮機出力 2.1kW	50.1	
15	室外機 15	PUZ-ZRMP45KA15	圧縮機出力 0.7kW	46.1	
16	室外機 16	PUZ-ZRMP140KA15	圧縮機出力 2.8kW	52.1	
17	室外機 17	PUZ-ZRMP45KA15	圧縮機出力 0.7kW	46.1	
18	室外機 18	PUZ-ZRMP160KA15	圧縮機出力 3.3kW	53.1	
19	室外機 19	PUZ-ZRMP56KA15	圧縮機出力 0.9kW	46.1	
20	室外機 20	PUZ-ZRMP80HA15	圧縮機出力 1.6kW	47.1	
21	室外機 21	PUZ-ZRMP40KA15	圧縮機出力 0.6kW	46.1	
22	冷凍冷蔵庫屋外機 1	OCU-CR200VF	圧縮機出力 1.6kW	54.1	・大きな騒音がでない形状とする。
23	冷凍冷蔵庫屋外機 2	OCU-CR3000MVF	圧縮機出力 18.3kW	62.7	
24	冷凍冷蔵庫屋外機 3	OCU-CR3000MVF	圧縮機出力 18.3kW	62.7	
25	冷凍冷蔵庫屋外機 4	OCU-CR1001VF	圧縮機出力 7.3kW	56.7	
26	冷凍冷蔵庫屋外機 5	OCU-CR1001VF	圧縮機出力 7.3kW	56.7	
27	冷凍冷蔵庫屋外機 6	OCU-CR1001VF	圧縮機出力 7.3kW	56.7	
28	冷凍冷蔵庫屋外機 7	OCU-CR2001MVF	圧縮機出力 14.6kW	63.0	
29	排気口 1	EF-30BSB3	出力 0.05kW	50.8	
30	排気口 2	EF-30BSB3	出力 0.05kW	50.8	
31	排気口 3	EF-30BSB3	出力 0.05kW	50.8	

No.	項 目		規模・能力	騒音レベル (dB)	具体的な騒音対策の内容
	騒音源種類	設備機器形式			
32	排気口 4	EF-30BSB3	出力 0.05kW	50.8	・大きな騒音がでない形状とする。
33	排気口 5	EF-35DSB3	出力 0.15kW	56.3	
34	排気口 6	BFS-450TX	出力 2.2kW	51.4	
35	排気口 7	VD-23ZP9	—	45.0	
36	排気口 8	BFS-450TX	出力 2.2kW	51.4	
37	排気口 9	EFG-35KSB-W	出力 0.1kW	53.3	
38	排気口 10	EFG-35KSB-W	出力 0.1kW	53.3	
39	ガラリ 1	ガラリ a	—	69.3	
40	ガラリ 2	ガラリ a	—	69.3	
41	ガラリ 3	ガラリ b	—	61.9	
42	ガラリ 4	ガラリ c	—	55.2	
43	ガラリ 5	ガラリ d	—	72.5	
44	ガラリ 6	ガラリ b	—	61.9	
45	キュービクル	キュービクル a	—	52.9	

④駐車場の騒音対策

駐車場名称等	具体的な騒音対策の内容	
	施設面	運用面
駐車場	・スロープは緩勾配とする。	・オープン時や繁忙期など多くの来店車両が見込まれる際には、出入口付近に交通整理員を配置して、場内走行の円滑化を図ることで、渋滞の発生による騒音抑制に努める。

⑤廃棄物収集作業にかかる騒音対策

廃棄物回収場所の配置等	別添「資料-3. 1 1階平面図兼配置図(廃棄物等保管施設)」参照
回収時間帯	24時間
	具体的な騒音対策の内容
施設面	・特になし。
運用面	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗から排出されるゴミの量を減らし、収集時間を短縮できるよう努めるとともに、夜間の回収頻度は1日に1台(週6回)とする。 ・廃棄物収集業者に以下について書面等にて協力を要請する。 <ul style="list-style-type: none"> ①夜間に廃棄物を回収する際には、後進警報ブザー音を切ること。 ②圧縮作業を行う際にはゴミの発生量に応じて周辺住居への影響が少ない場所で行うこと。 ③収集作業時の騒音防止の意識向上に努めること。 ④夜間の早期時間帯での回収を行うこと。 ⑤駐車場内では徐行運転(10km/h以下)すること。

⑥夜間において、併設施設から著しい騒音の発生することが見込まれる場合の騒音対策 該当なし

7 廃棄物等の保管施設の計画

①廃棄物保管施設の計画

面積	排出方法	洗浄設備	冷蔵設備等の有無	附属設備の概要
7.40㎡	ポリ袋・ペール	1箇所	○・無	無

②資源物保管施設の計画

面積	廃棄物との区分方法	防水対策	附属設備
6.00㎡	・別途保管庫内に設置 ・品目毎に仕切	建物内に保管	特になし

8 廃棄物等の運搬・処理計画

①廃棄物等の運搬方法

項目	古紙 (リサイクル可能な紙)	不燃物 (缶類)	不燃物 (びん類)	その他可燃ごみ
運搬の方法	業者委託	業者委託 (パッカー車)	業者委託 (パッカー車)	業者委託 (パッカー車)
予定業者等	未定	株式会社エイコー	株式会社エイコー	株式会社エイコー
搬入先	未定	市処理施設	市処理施設	福岡市清掃工場
運搬の頻度	週7回	週6回	週6回	週6回

項目	ペットボトル 食品トレイ 発泡スチロール	食品廃棄物 廃食用油	廃家電
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
予定業者等	未定	未定	未定
搬入先	未定	未定	未定
運搬の頻度	週6回	週6回	引取り時

②廃棄物等の処理方法

項目	古紙 (リサイクル可能な紙)	不燃物 (缶類)	不燃物 (びん類)	その他可燃ごみ
処理の方法	敷地外処理	敷地外処理	敷地外処理	敷地外処理
処理予定業者等	未定	福岡市	福岡市	福岡市
処理の具体的な方法	リサイクル	リサイクル	埋め立て	焼却
処理関連設備の内容	—	—	—	—
処理施設の悪臭対策	—	—	—	—
処理施設の防音対策	—	—	—	—
処理施設の配置	—	—	—	—

項目	ペットボトル 食品トレイ 発泡スチロール	食品廃棄物 廃食用油	廃家電
処理の方法	敷地外処理	敷地外処理	敷地外処理
処理予定業者等	未定	未定	未定
処理の具体的な方法	リサイクル	リサイクル	リサイクル
処理関連設備の内容	—	—	—
処理施設の悪臭対策	—	—	—
処理施設の防音対策	—	—	—
処理施設の配置	—	—	—

③テナント等に対する廃棄物等の運搬・処理方法の徹底

啓発のための組織体制及び方法
・従業員に対して掲示物等で周知徹底する。

④その他の廃棄物等の運搬・処理方法
該当なし

⑤食品加工場計画

面積	157 m ²
配置	別添「資料-3. 1 1階平面図兼配置図」参照
加工の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青果：スライス、パック詰め ・惣菜：調理加工、パック詰め ・精肉：スライス、パック詰め ・鮮魚：解体、パック詰め ・寿司：調理加工
悪臭対策	<ul style="list-style-type: none"> ・悪臭の元となる生ごみは、密閉性が確保できる保管施設に収納するとともに、冷蔵設備を設置することで、悪臭が漏出しないように配慮する。 ・定期的に保管庫を水洗洗浄することにより、悪臭発生防止を図る。
汚水対策	・施設から出る排水はグリストラップにより処理され、敷地外へ排出される。

⑥小売店舗以外の施設から発生する悪臭対策
特になし

9 街並みづくり等への配慮に関する事項

①街並みづくり等への配慮事項
特になし

②敷地内の緑化計画
計画なし

③景観への配慮

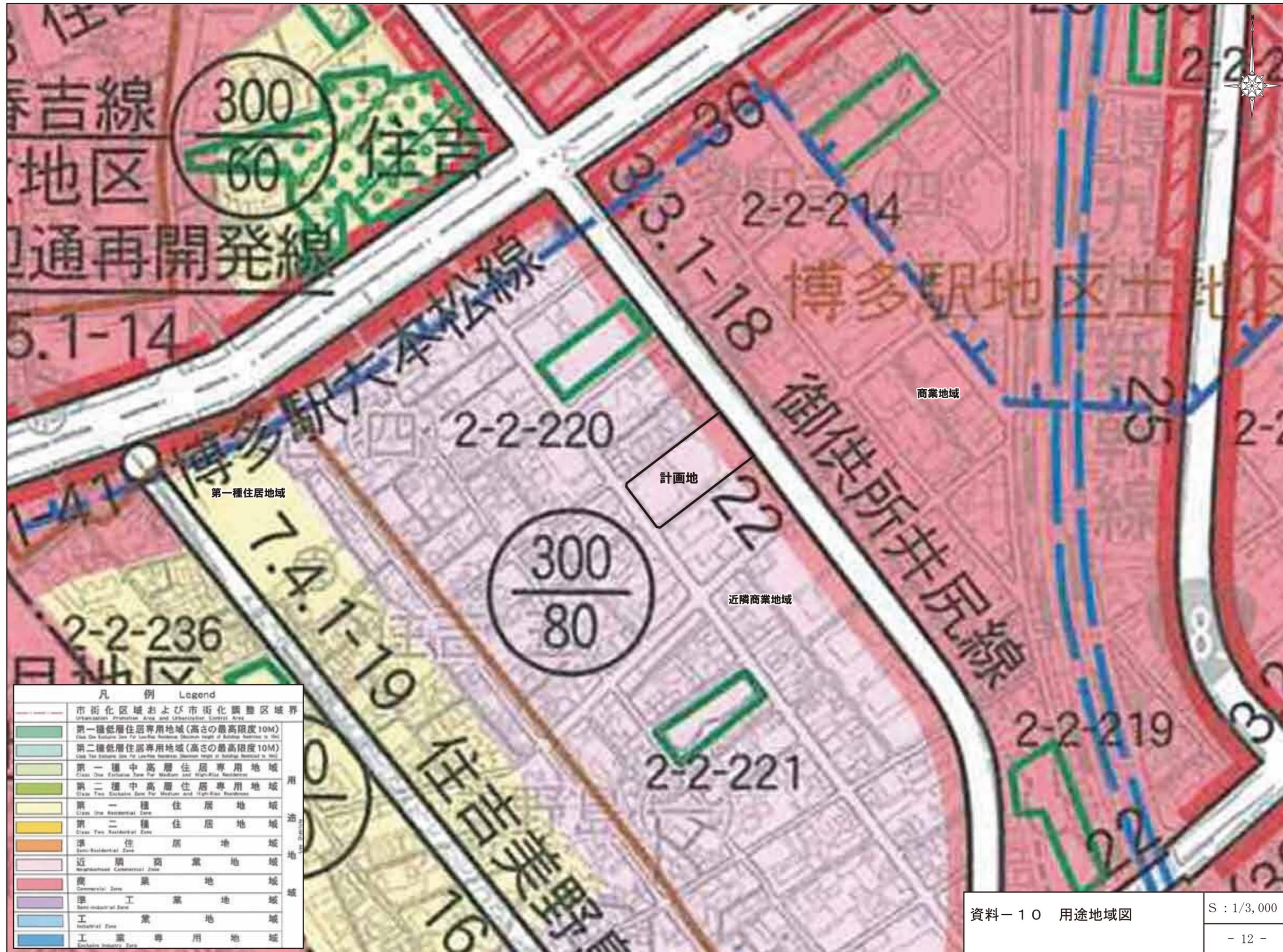
- ・外壁等の色彩や外観整備等について周辺環境と調和させるなど、福岡市景観計画の景観形成指針に適合するよう努める。

別添「資料-12. 1 立面図(1) / 資料-12. 2 立面図(2)」参照

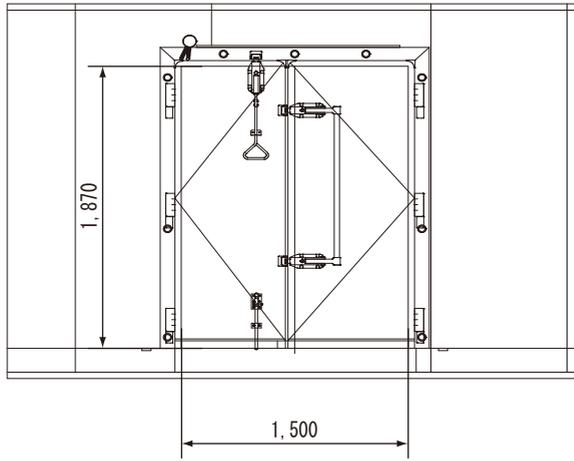
④屋外照明・広告塔照明等の計画と光害対策

	屋外照明	広告塔照明
照明灯の配置	無	未定
照明灯の方向	—	広告塔方向
照明の強さ	—	未定
点灯時間	日没から閉店後30分	
光害対策	・周辺近隣に対して光害を発生させないよう照明の配置、方向、光源の種類には十分に配慮している。	

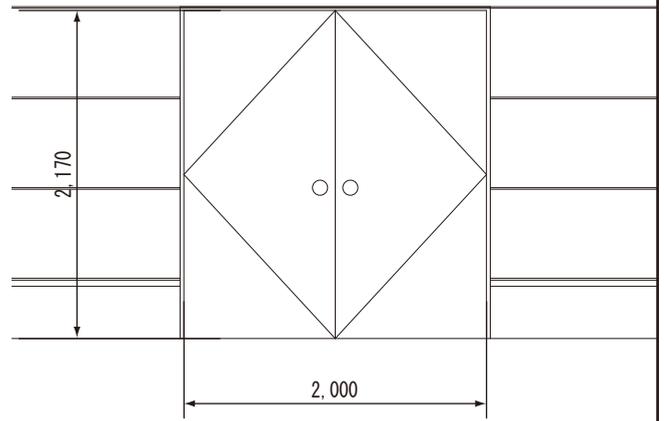
〔3〕 添付図面（指針配慮事項編分）



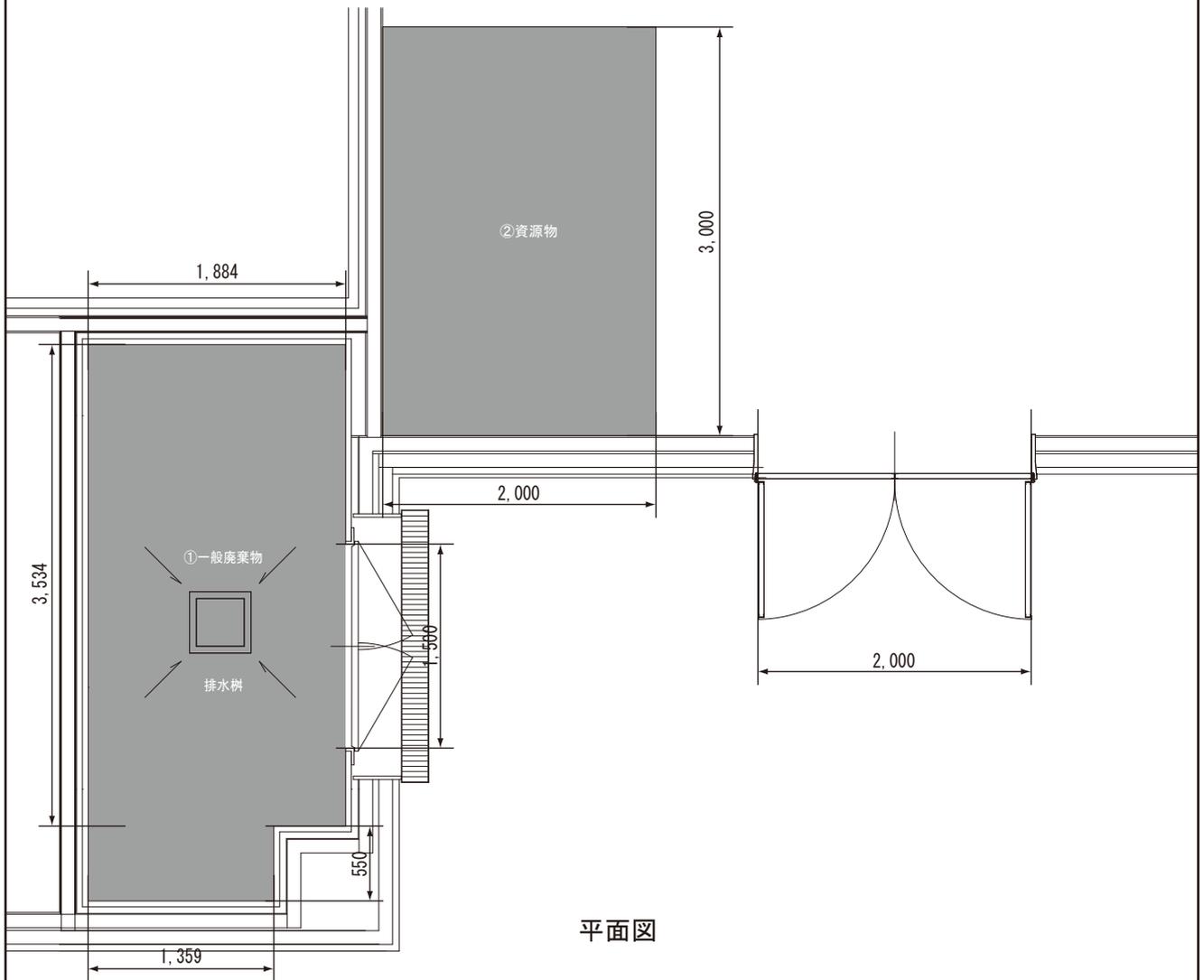
凡 例 Legend	
	市街化区域および市街化調整区域界 Urbanization Promotion Area and Urbanization Control Area
	第一種低層住居専用地域(高さの最高限度10M) Class One Exclusion Zone For Low-Rise Residences (Maximum height of Buildings Restricted to 10m)
	第二種低層住居専用地域(高さの最高限度10M) Class Two Exclusion Zone For Low-Rise Residences (Maximum height of Buildings Restricted to 10m)
	第一種中高層住居専用地域 Class One Exclusion Zone For Medium and High-Rise Residences
	第二種中高層住居専用地域 Class Two Exclusion Zone For Medium and High-Rise Residences
	第一種住居地域 Class One Residential Zone
	第二種住居地域 Class Two Residential Zone
	準住居地域 Semi-Residential Zone
	近隣商業地域 Neighborhood Commercial Zone
	商業地域 Commercial Zone
	準工業地域 Semi-Industrial Zone
	工業地域 Industrial Zone
	工業専用地域 Exclusion Industry Zone



①立面図(一般廃棄物)



②立面図(資源物)



平面図

保管面積

① $3.534\text{m} \times 1.884\text{m} + (0.550 \times 1.359) = 7.40\text{m}^2$ (一般廃棄物)

② $3.000\text{m} \times 2.000\text{m} = 6.00\text{m}^2$ (資源物)

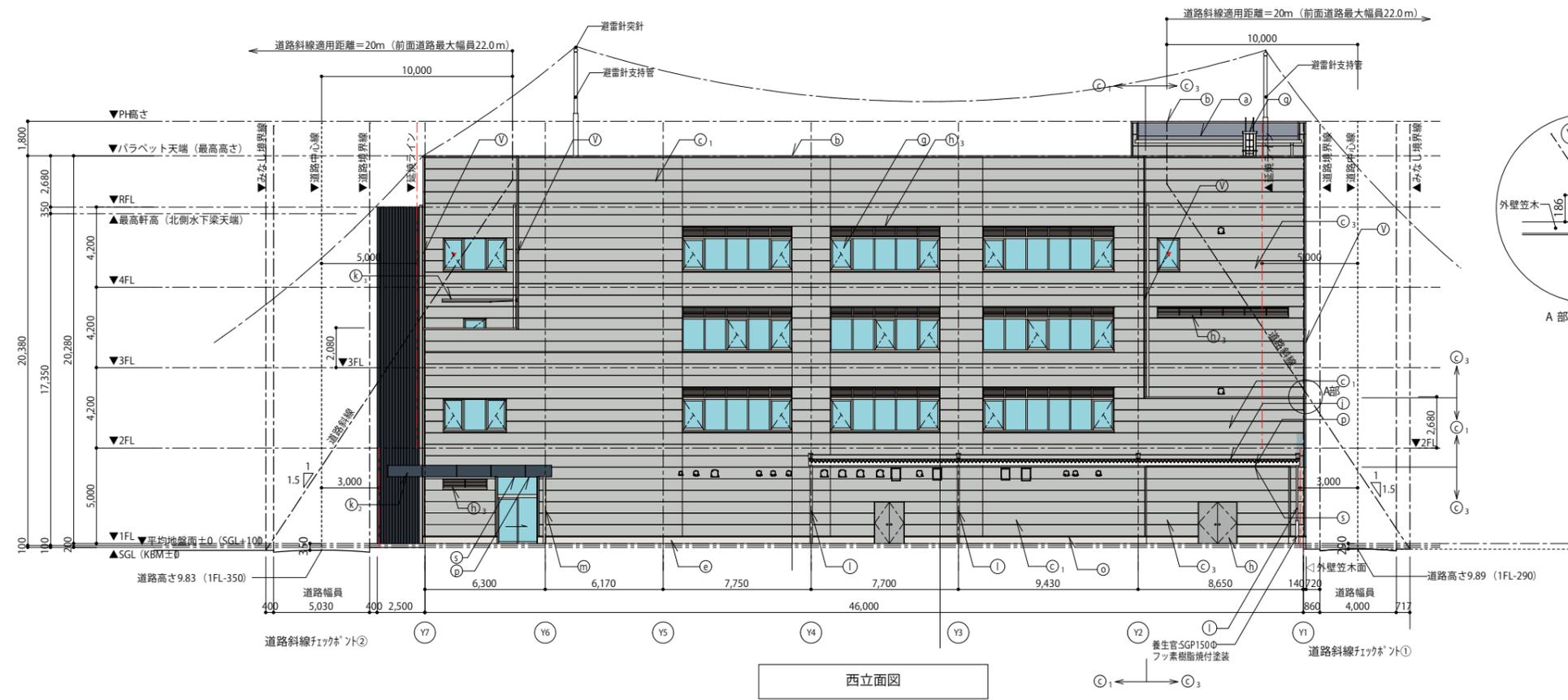
計 = 13.40m^2

保管容量

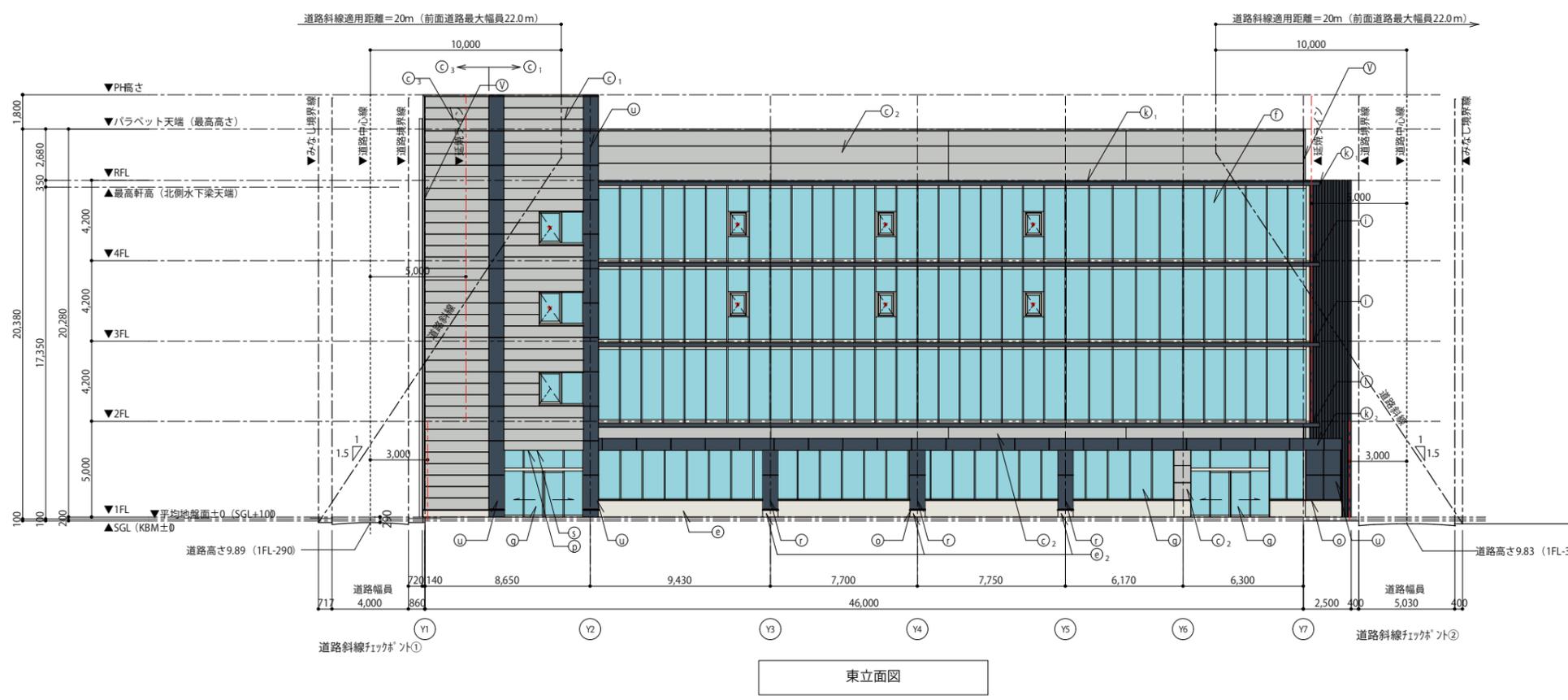
① $7.40\text{m}^2 \times \text{H}1.0\text{m} = 7.40\text{m}^3$ (一般廃棄物)

② $6.00\text{m}^2 \times \text{H}1.5\text{m} = 9.00\text{m}^3$ (資源物)

計 = 16.40m^3



西立面図



東立面図

○図中凡例

Ⓐ	屋根：ルーフィング硬質ウレタンフォームt60敷込みの上シート防水
Ⓑ	笠木：アルミ製製品 フッ素樹脂焼付塗装
Ⓒ ₁	外壁：金属断熱サンドイッチパネルt=50 横貼 備幅600
Ⓒ ₂	外壁：金属断熱サンドイッチパネルt=50 横貼 備幅900
Ⓒ ₃	外壁：金属断熱サンドイッチパネルt=75 横貼 備幅600
Ⓓ	外壁：ガルバリウム鋼板t0.5 角波スパンドレル横張り (アルミ色) (荷置き南面壁)
Ⓔ	巾木：コンクリート打放し補修の上超低汚染型ウレタン樹脂塗装 収縮目地φ180程度
Ⓔ ₂	腰4周：SUS中木t2.0 接着貼
Ⓕ	開口部1：アルミカーテンウォール 電解二次着色
Ⓕ	開口部2：アルミ製建具 電解二次着色
Ⓖ ₁	開口部3：スチール製建具 D塗装
Ⓖ ₂	開口部4：軽量スチールシャッター 珪酸板
Ⓖ ₃	開口部5：アルミガラリ 電解二次着色
Ⓚ ₁	庇1：RC庇D=550 フッ素樹脂塗装、鼻先：7φ31φ 3φ t3 フッ素樹脂焼付塗装
Ⓚ ₂	庇2：吊り折板屋根 ハゼ型H88ガルバリウム鋼板t0.8
Ⓚ ₃	庇3：7φ31φ 3φ t2 曲げ加工 フッ素樹脂焼付塗装
Ⓚ ₄	庇4：3周7φ31φ 3φ t2 曲げ加工 フッ素樹脂焼付塗装
Ⓚ ₅	庇5：7φ31φ D=1,500
Ⓛ	整礎：VU 125φ
Ⓜ	整礎：アルミ製 電解二次着色 125φ
Ⓝ	ルーバー：アルミルーバー 電解二次着色
Ⓞ	水切：フッ素系塗装SGL(金属断熱サンドイッチパネル)純正部品 7φ(工業同等)
Ⓟ	下壁笠木：外壁金属サドイッチパネル同色鋼板t0.5
Ⓠ	タラップ：SU製 タラップ 背付付き
Ⓡ	外部柱：7φ31φ 3φ t2 曲げ加工 フッ素樹脂焼付塗装
Ⓢ	軒天：ケイカル板 t8 AE塗装
Ⓣ	アルミ製壁面格子
Ⓤ	3周7φ31φ 3φ t2 曲げ加工 フッ素樹脂焼付塗装
Ⓥ	出隅部：外壁同材
Ⓦ	ペントキャップ
Ⓧ	ウェザーカバー

代替出入口 有効開口 W750×H1,200以上
または直径1mの円が内接する大きさ

※ 延焼の恐れのある部分の外壁が列はFD付とする。
※ 屋外広告物は計画なし

色彩・仕上げ表

分類	材質	場所	反射値
色彩	耐火ケラト RZ50 75	外壁	3B 7.9/0.1
	7φ31φ 3φ t2.0 フッ素樹脂塗装	庇・飾り柱 7φ31φ等	2.5PB 3/2
	コンクリート打放し フッ素樹脂塗装	外壁立上り部等	N9
	ガラス	サッシ部	透明 SG-5B 6.0-8.0/0.5-2.0
	VU 125φ	整礎	5.0Y 9/0.5
	7φ31φ 電解二次着色	7φ31φ 整礎・笠木 7φ31φ 列・水切り 7φ31φ等	10YR8.7/0.2
	スチール	鋼製建具	6.3BG 7.2/0.2